

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410044	X-33-B-2-410044	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報処理演習D①/U2①	石川 洋			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

Access, VB, SQL について学ぶ。これらの言語は Word, Excel と同様にコンピュータ上で稼働するアプリケーションソフトウェアであるが、これらの言語を使用すると、さらに新たなアプリケーションソフトやデータベースを容易に作り出すことができる。この演習ではコンピュータの利用者が使用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。情報を使いこなすための知識と技術、社会環境や人間活動に深くかかわる情報システムの機能と仕組みに関する基礎知識を習得することを目的とする。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 Access 1</p> <p>Access の概要・オリエンテーション 【前・後】【事後学習】課題提出1 (2時間)</p> <p>第2回 【授】 Access 2</p> <p>オブジェクトの作成 【前・後】【事後学習】課題提出2 (2時間)</p> <p>第3回 【授】 Access 3</p> <p>リレーションシップとコンボボックス 【前・後】【事後学習】課題提出3 (2時間)</p> <p>第4回 【授】 Access 4</p> <p>ロス分析とデータベースの正規化 【前・後】【事後学習】課題提出4 (2時間)</p> <p>第5回 【授】 Access 5</p> <p>体のまとめ、Access 理解度テスト 【前・後】【事前学習】1-4 回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。(2時間)</p> <p>第6回 【授】 VBによるプログラミング1</p> <p>VBについて、プログラミングの基礎 【前・後】【事前学習】教科書で実施内容を確認する。(2時間)</p> <p>第7回 【授】 VBによるプログラミング2</p> <p>計算の仕方 【前・後】【事前学習】教科書で実施内容を確認する。(2時間)</p> <p>第8回 【授】 VBによるプログラミング3</p> <p>コントロールの使い方 【前・後】(2時間)教科書で実施内容を確認する。(2時間)</p>	<p>第9回 【授】 VBによるプログラミング4</p> <p>グラフィックスの使い方 【前・後】教科書で実施内容を確認する。(2時間)</p> <p>第10回 【授】 VBによるプログラミング5</p> <p>全体のまとめ、VB 理解度テスト 【前・後】【事前学習】1-4 回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。(2時間)</p> <p>第11回 【授】 SQLによるRDBの操作1</p> <p>データ操作言語(DML)の利用 【前・後】【事後学習】課題提出1 (2時間)</p> <p>第12回 【授】 SQLによるRDBの操作2</p> <p>データの照会 SELECT 文によるデータの取り出し 【前・後】【事後学習】課題提出2 (2時間)</p> <p>第13回 【授】 SQLによるRDBの操作3</p> <p>データの照会 FROM 節、WHERE 節、GROUP BY 節、ORDER BY 節 【前・後】【事後学習】課題提出3 (2時間)</p> <p>第14回 【授】 SQLによるRDBの操作4</p> <p>表の作成 【前・後】【事後学習】課題提出4 (2時間)</p> <p>第15回 【授】 SQLによるRDBの操作5</p> <p>全体のまとめ、SQL 理解度テスト 【前・後】【事前学習】1-4 回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。(2時間)</p> <p>第16回 【授】 期末試験は実施しない</p>
---	--

成績評価方法

授業内に提出されたレポートの評価を演習点とする。40%
宿題で提出されたレポートの評価を課題点とする。60%
宿題で提出されたレポートのフィードバックの方法は個人情報情報を削除した見本となるレポートの紹介とレポート全体の講評により行う。
教科書・参考書

教科書を配布する。

受講に当たっての留意事項

Access, VB, SQL の順序は確定ではありません。
前期・後期・年度によって順序は変動することがあるので演習開始時に予定表を配布します。
演習内容は5回連続しているが欠席しても時間中に補講などはできないので欠席しないこと。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

コンピュータの利用者が利用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。
アプリケーションがどのように開発されるかを理解する。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：C、D

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
410044	X-33-B-2-410044	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
情報処理演習D②/U2②				宇田 隆幸	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択必修	1年
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

Access, VB, SQL について学ぶ。これらの言語は Word, Excel と同様にコンピュータ上で稼働するアプリケーションソフトウェアであるが、これらの言語を使用すると、さらに新たなアプリケーションソフトやデータベースを容易に作り出すことができる。この演習ではコンピュータの利用者が使用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。情報を使いこなすための知識と技術、社会環境や人間活動に深くかかわる情報システムの機能と仕組みに関する基礎知識を習得することを目的とする。

各回の授業内容

第1回 【授】 Access 1 Access の概要・オリエンテーション 【前・後】 【事後学習】 課題提出1 (2時間)	第9回 【授】 VBによるプログラミング4 グラフィックスの使い方 【前・後】 教科書で実施内容を確認する。(2時間)
第2回 【授】 Access 2 オブジェクトの作成 【前・後】 【事後学習】 課題提出2 (2時間)	第10回 【授】 VBによるプログラミング5 全体のまとめ、VB理解度テスト 【前・後】 【事前学習】 1-4回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。(2時間)
第3回 【授】 Access 3 リレーションシップとコンボボックス 【前・後】 【事後学習】 課題提出3 (2時間)	第11回 【授】 SQLによるRDBの操作1 データ操作言語(DML)の利用 【前・後】 【事後学習】 課題提出1 (2時間)
第4回 【授】 Access 4 ロス分析とデータベースの正規化 【前・後】 【事後学習】 課題提出4 (2時間)	第12回 【授】 SQLによるRDBの操作2 データの照会 SELECT文によるデータの取り出し 【前・後】 【事後学習】 課題提出2 (2時間)
第5回 【授】 Access 5 体のまとめ、Access理解度テスト 【前・後】 【事前学習】 1-4回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。(2時間)	第13回 【授】 SQLによるRDBの操作3 データの照会 FROM節、WHERE節、GROUP BY節、ORDER BY節 【前・後】 【事後学習】 課題提出3 (2時間)
第6回 【授】 VBによるプログラミング1 VBについて、プログラミングの基礎 【前・後】 【事前学習】 教科書で実施内容を確認する。(2時間)	第14回 【授】 SQLによるRDBの操作4 表の作成 【前・後】 【事後学習】 課題提出4 (2時間)
第7回 【授】 VBによるプログラミング2 計算の仕方 【前・後】 【事前学習】 教科書で実施内容を確認する。(2時間)	第15回 【授】 SQLによるRDBの操作5 全体のまとめ、SQL理解度テスト 【前・後】 【事前学習】 1-4回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。(2時間)
第8回 【授】 VBによるプログラミング3 コントロールの使い方 【前・後】 (2時間) 教科書で実施内容を確認する。(2時間)	第16回 【授】 期末試験は実施しない

成績評価方法

授業内に提出されたレポートの評価を演習点とする。40%
 宿題で提出されたレポートの評価を課題点とする。60%
 宿題で提出されたレポートのフィードバックの方法は個人情報情報を削除した見本となるレポートの紹介とレポート全体の講評により行う。
 教科書・参考書

教科書を配布する。

受講に当たっての留意事項

Access, VB, SQL の順序は確定ではありません。
 前期・後期・年度によって順序は変動することがあるので演習開始時に予定表を配布します。
 演習内容は5回連続しているが欠席しても時間中に補講などはできないので欠席しないこと。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

コンピュータの利用者が利用できるレベルの高いアプリケーションソフトウェアの使い方を習得する。
 アプリケーションがどのように開発されるかを理解する。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：C、D

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習